



The 58th Annual Meeting of The Japanese Respiratory Society

第58回日本呼吸器学会学術講演会

イブニングセミナー19

フレイルと人参養栄湯

－ 健康長寿に向けて －

日時

2018年4月28日(土)
17:30～18:30

会場

リーガロイヤルホテル大阪
2F 第13会場(楓の間)

大阪市北区中之島 5-3-68

座長

獨協医科大学日光医療センター
膠原病・アレルギー内科 教授

戸田 正夫 先生

演者

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科
漢方薬理学講座 特任教授

乾 明夫 先生

共催: 第58回日本呼吸器学会学術講演会 / クラシエ 薬品株式会社

フレイルと人参養栄湯

－ 健康長寿に向けて －

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科
漢方薬理学講座 特任教授

乾 明夫 先生

高齢化の進む我が国において、予防医学の立場から注目されているのが、サルコペニアを基礎としたフレイル (frailty) である。サルコペニア (sarcopenia) は骨格筋萎縮をさし、加齢に伴うGH-IGF1系や性ホルモンの低下を背景に、急速に筋肉量の減少を生じやすい。フレイルは漢方で言う未病病態であり、フレイルを予防、加療することによる健康寿命の延長が愁眉の課題になっている。フレイルは補剤の良い適応であり、多成分系を特徴とする漢方は、多様な身体疾患や食欲不振・不安・抑うつ・認知など、心身両面の異常を示すフレイルの治療に威力を発揮するものと期待される。人参養栄湯は最強の補剤とも称され、がんの緩和医療などに広く応用されてきた。人参養栄湯は多発性骨髄腫やがん患者の疲労、貧血、血小板低下、肝機能障害、抗がん剤の副作用などを改善し、抗がん剤の抗腫瘍効果を増強させると報告されている。またCOPD患者においては、食欲不振、体重減少や咳、痰、息切れ、不眠、低アルブミン血症などの改善が報告されている。高齢者においては免疫機能の強化、感染の抑制、サルコペニアの軽減など、在宅医療への応用やフレイルの予防・改善効果が期待される。本講演では健康長寿に及ぼす人参養栄湯の作用とそのメカニズムを、グレリン-神経ペプチドYという空腹系シグナルや骨髄幹細胞増殖促進効果など、我々の最近の成果を交え、基礎・臨床両面から述べてみたい。

いぬい あき お

乾 明夫 先生 (鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 漢方薬理学講座 特任教授)

略 歴

1978年 3月 神戸大学医学部卒業
1978年 6月 神戸大学医学部附属病院医員(研修医)に任用
1984年 7月 神戸大学医学部助手に任用
1997年12月 神戸大学医学部附属病院講師に任用
2000年 1月 神戸大学医学部助教授に任用
2001年 4月 神戸大学大学院医学系研究科 応用分子講座
消化器代謝病学分野(旧二内科) 助教授に任用
2004年10月 神戸大学病院 糖尿病代謝内科診療科長に任用
2005年 1月 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 社会・行動医学講座
行動医学分野(現心身内科学分野)教授 及び鹿児島大学病院
呼吸器・ストレスケアセンター 心身医療科診療科長に任用

2009年 4月 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 健康科学専攻長に任用
2012年 7月 鹿児島大学病院 漢方診療センター長に任用
2018年 4月 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 漢方薬理学講座
特任教授に任用 現在に至る

専門・指導医 日本内科学会指導医・認定医
日本心療内科学会専門医
日本消化器病学会指導医・専門医
日本内分泌学会指導医・専門医
日本老年医学会指導医・専門医
日本肥満学会専門医